

令和4年 第1回 古地図散歩報告（10月16日実施）

「濃尾震災～地図をもとに訪ねる震災の記録～」 講師：高橋 幸仁 氏

〔当日コース〕①地震断層観察館→②展望台→③駐車場→④西光寺（昼食）→⑤水鳥大將軍断層跡→⑥樽見鉄道水鳥駅→遊歩道→⑦地震断層観察館

1. 概要（当日レジュメより）

① 地震断層観察館(集合・出発地点)

濃尾地震でできた根尾谷断層を保存し、展示することを目的に平成4年(1992)に開館。断層のズレを直接観察できる世界で初めての施設。

② 展望台

県道から10m上がると河岸段丘に出る。展望台から北を見た眺めは、集落全体を載せた断層による隆起面が、手に取るようにわかる。当時の写真と重ねて考察すると土地利用の変化も理解できる。

③ 駐車場より

昭和27年(1952)特別天然記念物に指定され記念碑が建つ。段差を上下する県道はいまでは滑らかな斜面になっているが、段差は垂直6m、水平左横ずれ4mである。

④ 西光寺

地震で大きな被害を受けたが、境内南東の鐘楼は一旦は倒壊したがほぼそのまま起して現在も使用しているという。裏(西)の寺山は隆起断層面の北西の角をなす。

⑤ 水鳥大將軍(東西)断層

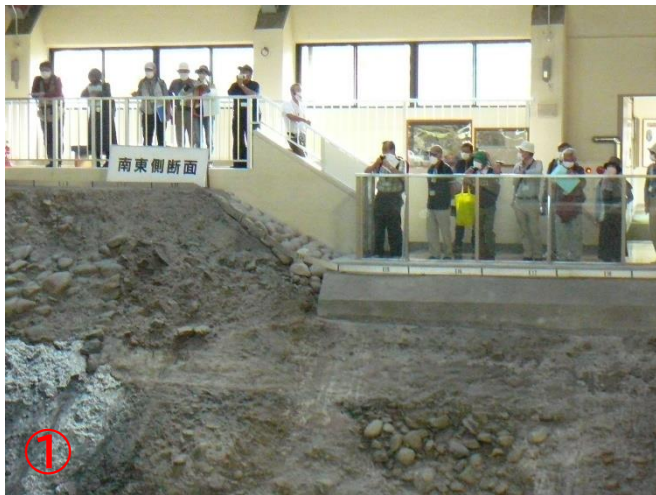
県道が微妙なカーブを描く位置に、道路を横断する断層跡がある。その方向に沿って進むと、当時のままに置かれている斜面がある。

⑥ 水鳥駅

ホームに立って南を望むと線路が幾分東へ振る分、断層の痕跡を残すために迂回したことがわかる。

⑦ 観察館(終着地点・解散)

断層崖の保存対策は、貴重な事実認識を共有する結果となった。



2. 訪れた場所 コース図

県域統合型 GIS ぎふ より

本巣市根尾水鳥駅付近1/2500

中心地 | 本巣市根尾水鳥 付近

